

日本共産党倉敷市議会議員

田辺昭夫
ニュースVol. 51
2006, 2, 26

バス路線廃止の後の代替え措置

2月市議会

タクシー運行に

倉敷市が独自に補助金

1ヶ所100万円
2月市議会に初めて予算を提案

バス路線廃止で市民の移動手段が奪われている地域で運行されている「乗り合いタクシー」に、倉敷市が補助金を出すことになりました。2月22日から開かれている2月定例会市議会に、倉敷市が予算を提案しました。

予算案の総額は2750万円。バス路線廃止にともなう代替え交通を実施している地域に1ヶ所100万円を限度に運行経費の一部を支援するというもの。

2006年度は、現在「乗り合いタクシー」を運行している庄新町、西坂台、児島大室地区の3地域を予定しています。

2月市議会の日程

- 2月22日(水) 開会
- 3月1日(水) 代表質問
- 2日(木) 代表質問
- 7日(火)～10日(金) 一般質問
- 13日～15日 各常任委員会
- 17日(金) 閉会



児島地区で運行され喜ばれている乗り合いタクシー

住民の運動が実を結ぶ
コミュニティバス運行の計画策定も

これまで、日本共産党の提案で市役所に設置された「交通政策課」のなかで、市民の“足”をどう守るのが検討されてきましたが、代替え交通に市が補助金を支給するのは初めてです。この間、児島大室地区をはじめ地域の住民のみなさんの運動が実りました。

また、この2月議会には、市全体の交通体系を調査する予算や、倉敷駅周辺の循環コミュニティバスの事業計画をつくる予算も提案されています。ひきつづき、全市に広げるよう働きかけていきたいと思ひます。